

授業改善書

科目名	インターンシップ I
担当者	柴田仁夫・大塚浩記

授業の概要

将来、インターンシップを体験しようとする学生のための準備のための授業である。自分を知り、企業を知ることから始まり、様々な人たち（上位学年の学生、内定者、企業人）との対話やグループワーク、質疑応答を体験する。その結果、3年時以降の自らの就職活動をより具体的にイメージでき、また行動できるようになることを目的としている。

授業の問題点

受講人数を制限している都合上、また第1回目のガイダンスで他の授業との違いを説明し、合意したうえで受講している学生が多いため、学生の授業姿勢は全体としては良い。ただし、例年と比較すると、人数が多かった分、出席にばらつきが出てしまった。

学生の授業満足度

概ね満足してもらっていると考えている。

授業改善の課題と方策

通常の授業と異なり、授業の成果は受講後の3年時以降の行動にかかっているため、上記の満足度と成果は別であると考えている。一層、企業の活動に興味を持ってもらうように工夫したい。また、学外の企業人と接する機会を持つ際には、あいさつや言葉遣いなど一層指導してゆきたい。

その他